

クイックガイド

初版

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。

注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

強制 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

燃料 無鉛レギュラーガソリン

 エンジンオイルは入っていません。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
WEB取説を
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。どうぞご理解ください。



警告（製品に係る安全事項）

 禁止	燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。	 強制	本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
	エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。		自動車やバイクで運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
	エンジンが熱いうちは、給油しないでください。		給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
	運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。		燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。

注意（製品に係る安全事項）

 禁止	本機はブレードの回転により、コンクリート打設後の硬化途中のコンクリートを平滑に仕上げることを目的とした機械です。用途以外には使用しないでください。	 強制	燃料はレギュラーガソリンを使ってください。
			長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			定期点検整備を行ってください。

⚠️ 警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。	 強制	適切な時期に休憩をとってください。
	動作中に回転部分に手足を近づけないでください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。

⚠️ 注意（作業に係る安全事項）

 禁止	機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
			毎回作業前に各部のネジ等の締付け具合を点検してください。振動でネジ等が緩み、思わぬ事故の原因になります。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様と異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

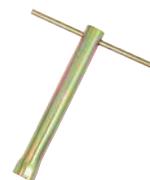
⚠️ 警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体



B. プラグレンチ



C. スムージングディスク ※1



※製造時期により仕様変更になる場合があります。

※1 スムージングディスク同梱版をご購入の方に付属されています。

主要諸元

モデル名	HG-S50
エンジン型式	Zongshen NP80 4ストロークエンジン
排気量	79cm ³
馬力	2馬力
パワー	1.5kw
回転直径	600mm
ブレードサイズ	220 × 125mm
ブレード厚み	1.5mm
ブレード数量	4枚
ブレード回転数	100-120min ⁻¹
調整可能な角度	0-15°
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	0.85L
起動方式	リコイルスターター方式
エンジンオイル	SAE10W-30
エンジンオイル容量	0.4L
互換点火プラグ	BP6ES(NGK)
寸法 (幅×奥行×高さ)	1300 × 620 × 850mm (ハンドルの高さを一番低くした状態)
折りたたみ時寸法 (幅×奥行×高さ)	720 × 620 × 620mm
エンジンの地面 からの高さ	550mm
ピッチ調整ノブの 地面からの高さ	620mm
本体重量	35kg

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

警告

- ・組立ては平坦な場所で行ってください。不安定な場所で行うと本機が倒れ、けがにつながる恐れがあります。
- ・組立作業中周囲に子供やペットが近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けられていることを確認してください。

メインパイプの組立て

- 1 メインパイプの中心部分にあるレバーハンドルとナットを一旦取外します。



- 2 折れているメインパイプを伸ばします。



- 3 取外していたレバーハンドルとナットを取付けて、ナットを軽く締めます。



- 4 レバーハンドルを時計周りに回して、締付けます。



レバーハンドルの向きを変えたい場合は、レバーを引っ張ってから回します。



リコイルスターターロープの固定

- 1 リコイルスターターロープをゆっくりと引っ張り、レバーハンドル横の引っかける所に引っかけます。



運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



強制

- ・燃料を給油するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料を給油口いっぱいまで給油しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



強制

- ・燃料タンクキャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料の給油

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン(レギュラーガソリン)
タンク容量	0.85L

工場出荷時、燃料は入っていません。下記要領で給油をしてください。古い燃料は絶対に使用しないでください。

- 1 燃料タンクキャップを取外します。



- 2 液面を見ながら少しずつこぼさないように給油します。



- 3 給油が終わったら、燃料タンクキャップをしっかり閉めます。

エンジンオイルの給油

エンジンオイルは出荷時には入っていません。必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが残っている場合があります。給油の際は、オイルゲージで確認してください。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	0.4L

- 1 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを取外し、オイルゲージに付着したオイルを布などで拭取ります。



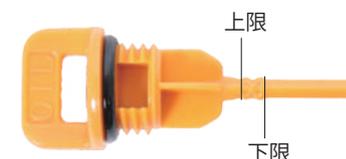
- 2 エンジンオイルを少しずつ給油します。

- 3 オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

注意

- ・エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- ・こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。

- 4 オイルが、オイルゲージの上限から下限内にオイルが来るようにします。



- 5 給油が終わったらオイル給油キャップをしっかり閉めます。

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃を行ってください。

- 1 エアクリーナーカバーを反時計周りに回して、カバーを取外します。



- 2 エアフィルタが汚れていればエアブロー等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。

各部のネジやボルトの緩み点検

各部のネジやボルトに緩みがないか、毎回確認してください。

緩んでいる場合は、増し締めをしてください。怠ると思わぬ事故、故障につながる恐れがあります。

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・振動障害の予防策として長時間の連続使用はしないでください。
- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。



強制

- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意



強制

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

- レギュラーガソリンを入れましたか？
- エンジンオイルを入れましたか？
- エアフィルタの汚れを確認しましたか？

1 アクセルレバーを、「高速側」と「低速側」の中間にします。



2 燃料ポンプを2～3回軽く抵抗を感じる程度まで押します。(初回のみ)



3 手元のエンジンスイッチレバーを奥に倒します。



4 エンジンスイッチを「ON」にします。



5 リコイルスターターロープを引っかけている所から外します。



6 本機をしっかり保持し、リコイルスターターロープを引きます。



※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。ロープは一杯に引ききらないでください。引きが少ないとエンジンはかかりません。

7 エンジンが始動したら1～2分程度アクセルレバーを「低速側」にし、暖気運転をします。

8 この時、ブレードが回転したり、エンジンが止まりそうなら、エンジンを一旦止め、アイドルリングの調整を行います。

9 アクセルレバーをアイドルリング「低速側」から運転「高速側」にすると、ブレードが回転を始めます。



注意

- ・アクセルレバーの操作をゆっくり行くと半クラッチ状態が続き、クラッチが破損する恐れがあります。また、乱振動を起こしますのでアクセルレバーは素早く動かしてください。
- ・作業を中断するときは、その都度アクセルレバーを「低速側」にしてください。

警告

作業中は、ブレードに足を近づけたり、ガードリングに足を乗せたりしないでください。足を挟まれ大変危険です。

👉 リコイルの引き方ポイント



- ① 良い例：約 70cm 引いている所。
- ② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

エンジンがかからないとき

- ☑ レギュラーガソリンを使用していない。または古い燃料を使用している可能性があります。
- ☑ エアフィルタが汚れている。
- ☑ リコイルの引き方が正しくない。
- ☑ 燃料が行き過ぎて、点火プラグを濡らしてしまっている可能性があります。

エンジンの止め方

- 1 アクセルレバーを「低速側(かめマーク側)」にし、エンジンを低速運転にします。
- 2 エンジンスイッチを「OFF」にするかまたはエンジンスイッチレバーを手前にします。

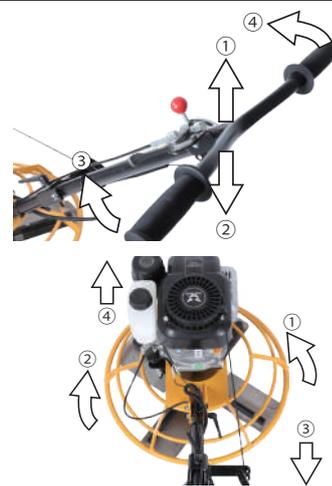


⚠️ 注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラ等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

本体のコントロール

操作はハンドル力の入れ具合で、左右、前後進が可能です。



- 1 ハンドルを少し持ち上げ気味(①)にすると、左に動きます。
- 2 ハンドルを少し押し下げる(②)と、右に動きます。
- 3 ハンドルを少し左に押し気味にする(③)と、後進します。
- 4 ハンドルを少し右に押し気味にする(④)と、前進します。

ブレードピッチ (角度) の調整

作業工程によりブレードのピッチ (角度) の調整を行います。

- 1 ピッチ調整ノブを時計回り(右回り)に回すと、ブレードが下向き、反時計周り(左回り)に回すとブレードが上向きになります。



⚠️ 注意

振動によりピッチ調整ノブが動く場合があります。適宜六角ボルトを締付けてください。

移動について

本機を移動するときは、2人以上で行ってください。

- 1 1人がハンドル下部を持ち、1人がキャリアハンドルを持って移動してください。



⚠️ 注意

ガードリングは持たないでください。変形する恐れがあります。

運搬、輸送について

本機を運搬するときは、次のことに注意してください。

警告

- ・運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- ・運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- ・作業直後にカバーをかけないでください。エンジンが熱くなっており、火災の原因になります。

注意

- ・手作業で本機の積込み、積降ろしする際は、足の上にとしたり、挟まれないよう十分ご注意ください。
- ・運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。

作業の仕方

警告



禁止

- ・身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・動作中にブレード部分の近くに足を近づけたり、足を入れないでください。
- ・ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。
- ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- ・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、完全に停止してから異物を除去し、本機に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・急傾斜地では使用しないでください。



強制

- ・本機を1人が連続で長時間使用せずに運転員を交代したり、十分な間隔をあけて使用してください。
- ・適切な時期に休憩をとってください。
- ・本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。
- ・しっかりハンドルを握って操作してください。

作業の開始

注意

操作者の経験が浅い場合は、必ず経験者指導のもとで操作を行ってください。

●ムラ取り（不陸調整）作業

- 1 コンクリートがアミゲタで乗れる程度になった時点（ある程度硬化した時点）で、ムラ取り（不陸調整）を行うため、別売のスミージングディスク（円盤）を使用します。



- 2 エンジンを始動します。（運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照）
- 3 暖機運転後、ハンドルをしっかり持って、アクセルレバーを「低速側」から運転「高速側」にすると、ブレードが回転を始めます。
- 4 運転操作の仕方「本体のコントロール」の要領で作業を進めます。



- 5 コンクリートが固まる前に凸凹をならします。
- 6 運転操作の仕方「エンジンの止め方」の要領で作業を一旦終了します。

●仕上げ作業

- 1 コンクリートが固まり出す（金ゴテで押さえられる程度）まで待機します。
- 2 スミージングディスク（円盤）を外しブレードのみにし、コテ仕上げ作業を行います。



- 3 エンジンを始動します。（運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照）
- 4 暖機運転後、ハンドルをしっかり持って、アクセルレバーをアイドリング「低速側」から運転「高速側」にすると、ブレードが回転を始めます。



- 5** 運転操作の仕方「本体のコントロール」の要領で作業を進めます。



※この画像は他の機種画像です。

※写真は、コンクリートがまだ緩いため筋が付いていますが、本来はもう少し硬化してから金ゴテの要領で押さえていくと鏡面状になります。

- 6** 必要に応じてブレードのピッチ(角度)の調整を行い、凸凹をならします。



- 7** 運転操作の仕方「エンジンの止め方」の要領で作業を一旦終了します。

作業の中断

作業を短時間中断するときは、その都度アクセルレバーを「低速側」してください。燃料の節約、エンジンの寿命にも好影響を与えます。

作業の終了

作業中に付着したコンクリートが硬化する前に清掃をします。

- 1** ブレード及び回転部分に付着したコンクリートが硬化する前に、丁寧に水洗いをします。

⚠️ 注意

清掃を怠ると、次回快適に使用できなくなります。特に、ブレード底面にコンクリートが付着硬化した場合は、仕上がりが綺麗にできなくなります。また、回転部品に付着したコンクリートをそのままにしておくと、硬化して、動かなくなる恐れがあります。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますので安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6)弊社が認めていない改造をされたもの

(7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8)注意を怠った結果に起きたもの

(9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)

(11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)

(12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理された商品

(13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

(14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺いし、お手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。